

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-311	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
構造用合板を用いた在来補強工法 「標準真壁」					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
					実験実施機関 : 名古屋工業大学				
概要	技術概要 土壁のない箇所に、構造用合板を使って、補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 一般流通品なので取り扱いが容易 						サンプル構面	33,664 円/kN	
						設計見積り例	—		
適用範囲					写真・図 				
構法	木造在来軸組工法								
規模	3階建て以下								
基礎、地盤	特になし								
適用部位	内外壁								
耐震性能									
評価仕様: 真壁仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
5.0 kN/m		910kN/rad./m							
真壁標準工法									
設計方法									
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること									
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
主要構成部材の仕様									
仕様	構造用合板	真壁、厚 9mm、縦使い、各高さ 400mm 以上							
		釘 N50、CN50、@150mm 以下、間柱打ち、四周打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下							
	間柱	三ツ割材以上、釘 N50、CN50、@150mm 以下							
	継手受材	奥行 30×見付 90mm 以上、釘 四方受材に対し 2-N75 斜め打ち、四方受材・間柱に対して継手受材負け							
	上下受材	なし							
	四方受材	奥行 45×見付 45mm 以上、釘 N75 @150mm 以下、または N90 @200mm 以下							
	下地材	なし							
	アルミアングル	なし							
かさ上げ材	なし								
その他									